



# Shell Heat Transfer Oil S4 X

## シェルヒートトランスファーオイル S4 X

- ・優れた熱・酸化安定性
- ・高引火点-可燃性液体類
- ・環境にやさしい
- ・合成油

シェル ヒートトランスファー オイル S4 Xは、シェルグループ独自の合成油を基油に使用した、長寿命、高引火点、環境対応型の熱媒体油です。また高い粘度指数を有しており低温時の始動性に優れます。シェル ヒートトランスファー オイル S4 Xは、スラッジの生成が少ないため、機器のメンテナンスコストの削減に貢献します。

### 製品性能と特徴

#### ● 更油期間の延長が可能

シェル ヒートトランスファー オイル S4 Xは合成油を基油に使用しており、熱・酸化安定性に優れ、スラッジの生成が少ないため、熱効率が低下しにくく長期間の使用に耐える熱媒体油です。

#### ● 消防法上の取り扱いが容易

シェル ヒートトランスファー オイル S4 Xは、250°C以上の引火点を有し消防法上の可燃性液体類に分類されるため、第四石油類の熱媒体油と比較して、管理や取り扱いが容易になります。

#### ● 環境にやさしい

シェル ヒートトランスファー オイル S4 Xは化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)の監視化学物質を使用しておらず、使用・廃棄時のリスク低減が可能です。

#### ● エネルギーの有効利用

シェル ヒートトランスファー オイル S4 Xは比熱が大きく、熱容量が大きいため、一定の油温を保持するための熱エネルギーをより少なくすることが可能です。

#### ● 低温時の始動性に優れる

シェル ヒートトランスファー オイル S4 Xは合成油を基油に使用することにより、通常の熱媒体油よりも高い粘度指数を有しております。このため、低温時の始動性に優れ、より小型の油圧ポンプでの設計が可能です。

#### ● メンテナンス軽減

シェル ヒートトランスファー オイル S4 Xはスラッジの生成が少ないため、油圧ポンプ・配管等の各種機器を長期間にわたり良好な状態を維持しメンテナンスに関わるコストの低減に寄与します。

シェル ヒートトランスファー オイル S4 X								
油種	項目	密度 (15°C) g/cm <sup>3</sup>	引火点 (開放式) °C	流動点 °C	色	動粘度 mm <sup>2</sup> /s		粘度 指数
						@40°C	@100°C	
シェル ヒートトランスファー オイルS4 X		0.826	260	-25.0	L0.5	34.5	6.4	140

\*代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変更場合があります。(2016-01)

\*\*シェル ヒートトランスファー オイル S4 Xは、可燃性液体類です。

シェル ヒート トランスファー オイル S4 X の物性				
温 度 ℃	比熱 kJ/kg・K	密度 g/cm <sup>3</sup>	比熱×密度 kJ/ℓ・K	粘度 mm <sup>2</sup> /s
0	2.04	0.835	1.70	289
50	2.27	0.803	1.82	23.8
100	2.50	0.770	1.93	6.41
150	2.73	0.738	2.01	2.89
200	2.96	0.705	2.09	1.70
250	3.18	0.673	2.14	1.16
300	3.41	0.640	2.18	0.88

シェル ヒート トランスファー オイル S4 X の販売荷姿 : 200Lドラム 20L ペール缶

### ■ 使用上の留意点

- ・機械および潤滑油を長持ちさせるため、新油をタンクに張り込む前に必ず装置のフラッシングを行ない、内部及び潤滑箇所を清浄にするとともに、使用中も異物が混入しないように機器のメンテナンスに充分留意してください。
- ・また、他銘柄との混合使用は油の性能低下をきたすことが考えられますのでできるだけ避け、止むを得ない場合は、時期をみて早めに一度全量交換することをおすすめします。
- ・ご使用にあたっては、事前に安全データシート(SDS)をご覧ください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけでなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また、仕向国の法規等により輸入制限を受ける場合もありますので、製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルブカカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



**取扱上の注意 ▼下記の注意事項に従ってお取扱ください。**

《取り扱い上の注意》	
【安全対策】	・使用前にカタログ、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・取り扱う際は保護具を使用すること。
【応急措置】	・飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。 ・無理に吐かせないこと。 ・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗うこと。
【保管】	・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。 ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。
【廃棄】	・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 ・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。